

2022 年度 自己点検・自己評価

2022.4.25

SPC Japanese College

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらとも言えない
2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 理念・目的	評価
1 1-1 理念・目的・育成する人材像は明確となっているか	5
2 1-2 理念・目的は社会のニーズに合致したものとなっているか	5

〈現状・具体的な取組/課題〉

・ SPC は、2001 年豪州ケアンズに、「質の高い教育を提供する最高の学習環境を創造するために、全力を尽くす。」という理念をもとに英語学校を開校（2003 年豪州許可）依頼、約 20 年英語教育に情熱を注いできた。

・ SPC Japanese College では、日本国内で日本人学生を対象に外国語を教授するという志を持つ外国人講師へ、各々の地域生活や職場生活のための日本語教育、文化教育などを行う。質の高い外国講師が、日本の文化を愛しながら長く日本国内にて活躍し、そして彼らを通し多くの日本人の外国語習得と外国文化の学修の成功へ貢献したいと考える。

2. 学校運営・教員・教員組織	評価
3 2-1 運営体制は日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
4 2-2 理念・目的に沿った運営方針は策定されているか	5
5 2-3 理念・目的に沿った事業計画は策定されているか	5
6 2-4 組織運営・人事に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制は整備されているか	3
7 2-5 財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制は整備されているか	3

〈現状・具体的な組織/課題〉

・ コロナ禍の中での開校だったため、まだ在籍者はいない状況であるが、運営体制や理念目的等、明確に策定されている。

・ 規定の整備はまだ十分ではない。

3. 教育内容・方法	評価
8 3-1 教育理念に沿った教育課程は体系的に編成されているか	5
9 3-2 成績評価・進級・修了の判定基準は明確となっているか	5
10 3-3 教員の指導力向上のための取組は行われているか	3
11 3-4 教育課程の改善のための取組は行われているか	3

<現状・具体的な取組／課題>

・教育課程等の整備は十分に行われているが、実際的な取組が行われていないため評価できないため、評価は3とした。

4. 学修成果	評価
12 4-1 学生の日本語能力の向上は図られているか	5
13 4-2 学生の日本語能力の進捗状況を適切に把握しているか	3
14 4-3 学生の進路を適切に把握しているか	3

<現状・具体的な取組／課題>

・学生が在籍していないため、評価は3とした。評価できる状況ではないが、準備は万全である。

5. 学生支援	評価
15 5-1 学生に対する学習相談は整備されているか	3
16 5-2 学生の進路に対する支援体制は整備されているか	3
17 5-3 健康管理への支援体制は整備されているか	3
18 5-4 日本での生活指導への支援体制は整備されているか	3
19 5-5 防災や緊急時における体制は整備されているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

・学生が在籍していないため、評価は3とした。

6. 教育環境	評価
20 6-1 学校の施設・設備は十分かつ安全に整備されているか	5
21 6-2 教材は適切か	3

<現状・具体的な取組／課題>

・学生が在籍していないため、評価は3とした。

7. 学生の受け入れ 評価

23 7-1 入学者の募集は適切に行われているか学生の受入方針は定められているか	4
24 7-2 入学者の募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	4
25 7-3 授業料等は適切か	3

<現状・具体的な取組／課題>

・コロナ禍での入国制限等があったため、入学者の募集が思うようにできなかった。

8. 財務 評価

26 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
27 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
28 8-3 会計監査は適切に行われているか	5
29 8-4 財務情報の公開の体制はできているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

・コロナ禍での学校経営は苦しいものであったが、財務基盤は安定している。

9. 法令遵守 評価

30 9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営はなされているか	5
31 9-2 個人情報の保護の取組は適切に行われているか	5
32 9-3 自己点検の実施と改善、及び、その公開を適切に行っているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

・常にコンプライアンスを意識した行動をするように、教職員に伝えている。
・今後も、継続的な自己点検・自己評価により、課題点を発見し、改善を進める。

・法廷遵守を常に心がけた学校経営に務める。

10. 社会貢献

評価

33 10-1 学校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、公開講座等の実施、生徒のボランティア活動への支援、などの取組を行っているか 3

<現状・具体的な取組/課題>

・学生が在籍していないため、評価は3とした。